

学びあい育ちあい推進審議会 令和4年1月定例会要点録

令和4年1月20日（木曜）

出席委員	学校教育の関係者	
	委員	伊藤 映二
	社会教育の関係者	
	委員	青木 ひとみ
	委員	布施 栄子
	家庭教育関係代表	
	委員	鶴澤 千秋
	委員	細田 雅美
	学識経験者	
	委員	炭谷 晃男
	公民館利用者代表	
	委員	野口 享子
	委員	中川 雄介
	公募市民	
	委員	安藤 慎次
	図書館協議会代表	
	委員	大島 真理子
	文化財保護審議会代表	
	委員	小林 満起子

欠席委員 梅澤委員、鯨井委員、野々村委員、

出席職員	オリンピック・パラリンピック担当部長	小林 弘宜
	文化・生涯学習推進課	古谷 真美
	永山公民館長兼関戸公民館長	北方 静史
	図書館長	横倉 妙子
	中央図書館整備担当課長	萩野 健太郎
	教育協働担当課長	室井 裕之
	文化財・教育企画担当課長	齊藤 義照

(開会時刻：13時30分)

議事録署名委員：中川委員

議事次第・配布資料

〔報告事項〕

1	第4次多摩市生涯学習推進計画の振興管理手法について	【資料 1】
2	屋外スポーツ施設管理更新計画の決定について	【資料 2】
3	多摩市立多摩ふるさと資料館整備の進捗状況と今後の予定について	【資料 3】
4	公民館事業進捗状況について	【資料 4】
5	公民館施設使用状況について	【資料 5】
6	多摩市教育委員会事務局組織等の改正について	【資料 6】

〔協議事項〕

1	学びあい育ちあい推進審議会の提言「多摩市におけるこれからの社会教育施設のあり方について」	【資料 7】
---	--	--------

会 長：	現在の出席委員は、9名である。定足数に達しているため令和4年多摩市学びあい育ちあい推進審議会1月定例会を開始する。会議録署名委員は中川委員にお願いする。まず、資料の確認をお願いする。
文化財・教育企画担当課長：	—（教育・企画担当課長より資料確認）—

〔報告事項〕

1 第4次多摩市生涯学習推進計画の進行管理手法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 1】

文化・生涯学習課長：	資料1の「第4次多摩市生涯学習推進計画の進行管理手法」についての、概要版、及び成果目標を参照いただき説明する。推進計画については、昨年4月の審議会にて、今年度より計画運用を進め、令和4年度で評価する旨報告をしている。進行管理については、計画が10年間、2年ごとに成果目標の確認、5年を目途に見直しを行う事となっている。進捗状況を確認する24の個別施策の中には、令和3年度は、市長部局、教育委員会で121の事業を展開している。令和4年度に生涯学習推進本部にて、進捗状況の内部評価を行う。成果目標については、2年に1度行われる世論調査に合わせて達成値の評価を行う。指標設定については、関連課、各事業において設定、結果を報告し、内部、外部評価を経て、見直しを行うPDCAサイクルをイメージし、事業の見直し、改善を行う。
会 長：	成果目標は一つの基準として示されている。数値が示されていると質的な評価ができるので、質的評価の取り入れも検討してほしい。個別施策の中でSNS等を活用しとあるが、広報にはもっと他の手法があるのではないか。
文化・生涯学習課長：	生涯学習活動の推進にあたっては、数値ではかることは難しいと考えている。ご指

	<p>摘のとおり質的な評価も必要と考える。121事業については、教育だけでなく福祉、防災、まちづくり、経済観光等の分野の中で主目的を達成するために事業展開をしている。その中でも、生涯学習の観点も忘れずに施策を進めることが大事だと思う。</p>
会 長 :	<p>評価の仕方として内部評価その結果を推進本部で外部評価として行う。その外部評価について、この審議会も活用することを検討していただきたい。</p>

2 屋外スポーツ施設管理更新計画の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料2】

オリンピック・パラリンピック担当部長 :	<p>多摩市内にはスポーツ施設が20ある。計画の概要として施設利用者の安全確保、多くの市民がスポーツに参画する機会の確保を目的としている。位置づけとしては国及び市の総合計画から更新計画を定めた。計画期間は、令和4年度から13年度の10年間としている。屋外スポーツ施設の課題を整理し、施設を取り巻く環境を分析した。健幸まちづくりを実践するみんなが利用しやすいスポーツ施設を基本目標とし今後の方向性を踏まえ計画的に施設管理、更新を進め、施設運用の見直しも考慮し進行管理をする。</p>
オリンピック・パラリンピック担当部長 :	<p>多摩大学3年生が北京オリンピック、スキーモーグルに出場する旨連絡が入った。応援願います。</p>
会 長 :	<p>たくさんの施設をうまく活用して、健幸都市として十分活用されることを望む。そのためには、安全なしっかりとした更新計画をたてて進行管理していただきたい。ハード面はもちろんだがソフト面に関しても時代にあった施設運用をお願いする。</p>
委 員 :	<p>尾根幹線沿いの施設は駐車場が充実している。駐車場が少ないところは稼働率が低い。野球やサッカーの団体が少なく、テニスをやる方が多い。自分のまわりもテニスする方が多い。</p>
オリンピック・パラリンピック担当部長 :	<p>ニュータウンの開発に合わせて整備した施設については駐車場が少ないのは多摩市の公園全般の共通課題と認識している。</p>

3 多摩市立多摩ふるさと資料館整備の進捗状況と今後の予定について・・・・・・・・・・ 【資料3】

文化財・教育企画担当課長 :	<p>多摩市立多摩ふるさと資料館については、令和4年4月1日開館予定となっている。未来へと人も文化もつなげる場をコンセプトとし、旧北貝取小学校施設内に収蔵展示室、多目的ホールを設置する。各収蔵展示室にねらいや目的をもって多摩市の歴史を学ぶ。今後の予定は、今月改修工事終了、2月市内4施設から文化財資料を移転、3月末内覧会を予定している。</p>
会 長 :	<p>新たな学習、発見ができ、充実した施設となっている。</p>

4 公民館事業進捗状況及び施設使用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料4・5】

公 民 館 長 :	<p>永山公民館では、昨年好評であった版画講座を行った。年賀状の時期に合わせて開催してほしいとの要望から11～12月に開催し好評であった。大学生の団体で学習支援団体との協力で冬休み勉強会を行った。今後地域に繋げていきたい。多摩市</p>
-----------	--

	にゆかりのある作家を招いて読書会を開催した。幅広い市民が参加した。関戸公民館では、地域課題講座として原峰公園で植物観察をし、身体講座として講師を招いて健康に関する講座を行った。関戸地球大学院については新しい取り組みとしてオンラインを活用した事業を行った。市民ロビーが12月から工事に入ることから、11月27、28日にロビーコンサートをコロナ対策を十分に行い開催した。施設使用状況については、11月については通常に戻ってきている。12月について、永山は前月と同様の使用率だが、関戸については市民ロビーの工事に伴い、第1・2学習室が使用不可、ギャラリーを市民ロビー利用者に開放、ホールを工事に伴う騒音を避けるため土日祝日のみ貸し出しとしている為、使用率がかなり低くなっている。工事については7月中旬まで予定している。
会 長 :	施設の使用については順調にのびてきている。オミクロン株の影響で今後、施設を閉めたりするのか。
公 民 館 長 :	今後については、対策本部、施設担当者会議で決めていく。

5 多摩市教育委員会事務局組織等の改正について・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6】

文化財・教育企画担当課長 :	社会教育関係業務、文化財、八ヶ岳少年自然の家、学びあい育ちあい推進審議会、学校開放等を集約し、担当課長を社会教育・文化財担当課長と改め、教育企画係を社会教育係に変更する。中央図書館整備に関する事務を総務係に移管し中央図書館開館後の維持管理が円滑に行えるよう業務連携できる体制とする。
----------------	---

〔協議事項〕

1 学びあい育ちあい審議会の提言「多摩市における社会教育施設のあり方」について・・・・【資料7】

文化財・教育企画担当課長 :	前回、審議会終了後、色々ご意見をいただき、それを反映した提言書案を作成した。
会 長 :	2年間に渡って、協力いただき感謝する。今回でまとめたので意見があればお願いする。
委 員 :	「中学生のための絵本講座」について、中学生の絵本は図書館にあるのか。
図 書 館 長 :	中学生の講座は現在やっていないが、年齢に限らず絵本について読み聞かせをしたり、感想について語り合ったり等の講座ができる。
委 員 :	絵本のイメージが幼児向けと感じるし、高齢者への読み聞かせの表現も気になる。無理のある表現は直したほうが良いのではないか。
委 員 :	高齢者に対して、紙芝居や絵本について語り合う事業をしている。中学生が小学生に対して絵本の読み聞かせ授業をしているので、この表現となったのではないか。
委 員 :	確かに読み聞かせという言葉は大人目線とを感じる。読みあいとか本を共有するとの表現でもいいのではないか。中学生のブックトークは行われている。多様な絵本が出ていて、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い絵本がある。中学生の絵本講座は成り

	立つと思う。
会 長 :	今まで出された意見を集約して、主旨を読み取って付け加える。次回、修正し最終版としてお示しする。

〔その他〕

オリンピック・パラリンピック担当部長 :	昨年10月13日にアイスランド大使館と事業提携に関する覚書を交わした。今後アイスランドの紹介や6月の独立記念日にはアイスランドを紹介するイベント等を行っていききたい。様々な分野で交流を深めていききたい。
----------------------	---

文化財・教育企画担当課長 :	審議会委員については、3月をもって満期となり、4月改選となる。市長部局の生涯学習部門と教育委員会の学びあい育ちあい審議会の連携等で活発に審議をしていただいている。現在、学びあい育ちあい審議会委員については、条例に基づいて、学校教育2名、社会教育関係2名、家庭教育2名、公民館利用者2名、公募市民2名等団体から推薦をいただいている。ここで、各団体の推薦を1名に絞り、一人ひとりの発言時間を確保し議論の活発化を図りたい。会長と相談し整理をした上で、各団体へ推薦の依頼をしたいと考えている。1月末までに準備を整え、4月に向けて改選の推薦依頼をお願いしたい。2月の審議会で進捗状況の報告をし、4月に向けて準備していく。
----------------	---

会 長 :	人数が小規模になるが、これが縮小する、制限が掛る等と受け取られないよう十分な説明をお願いします。人数が少なくなれば議論が活発になるとは一概に言えないが、4月以降、審議会が活発になるよう期待している。
-------	---

(1時間30分)

(閉会時刻15時00分)

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和4年 月 日

会長

委員